

うみの真ん中に 立っってみる。

「着地型観光」で見えてくる、 浜松観光の未来。

「うみ」とは湖、浜名湖のこと。

この真ん中に「立っってみる」ことを想像してください。

ほんのり漂う潮のかおり、空と湖面の開放感、

生き物とのふれあい、海と寄り添う人々の暮らし…

そして、周辺には、歴史、文化、自然、モノづくり、レジャーなど

ひとつのジャンルに留まらない浜松の魅力も見えてきます。

この、地域最大の観光資源を五感で体感できたり、

旅の起点にした市内観光ルートが生まれたりしたら

楽しいと思いませんか。

市では浜名湖や市内に眠る宝を掘り起こし、つなぎ合わせて創る

地元主導の観光（着地型観光）を推進しています。

来訪者はもちろん、市民も楽しむことができます

浜松観光の未来が見えてきました。

